

市政記者 各位

福岡市植物園内にある平尾浄水場遺構をリニューアル

福岡市植物園内にある平尾浄水場遺構(以下「遺構」といいます。)の歴史的な価値を多くの市民に知ってもらい、福岡の発展を支えた水への感謝とその恩恵を未来へ継承していくため、遺構をリニューアルしました。

また、3月22日から開催される Fukuoka Flower Show 2026 では、開催初日に遺構付近で水道局ブースを出展いたします。

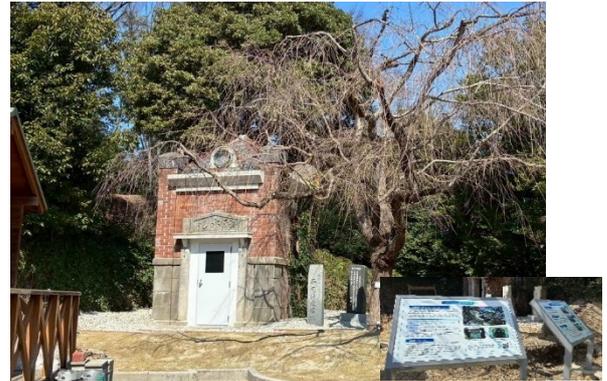
趣旨をご理解いただき、広くお知らせくださいますようお願いいたします。

1 遺構のリニューアルについて

遺構扉とその周辺の修景整備、解説サインの改修を行いました。



リニューアル前



リニューアル後

2 Fukuoka Flower Show 2026 水道局ブース出展について

飲む海水の試飲体験や缶バッジづくりができるブースを出展予定です。

福岡市の水道の歴史と平尾浄水場遺構

福岡市植物園は、平尾浄水場跡地を利用して昭和55(1980)年6月に開園しました。

遺構は、平尾浄水場の配水池点検用通路の入口として利用されていたもので、植物園建設の際にこの場所に移されたものです。

平尾浄水場は、福岡市最初の浄水場で、大正12(1923)年3月に給水を開始しました。

その後、夫婦石浄水場にバトンタッチする昭和51(1976)年6月までの53年間、発展を続ける福岡のまちに水道水を供給し続けました。平尾浄水場遺構は、曲淵ダムとともに福岡市に残る近代化遺産としての重要性和、都市の発展に貢献した施設として重要であることが認められ、平成21(2009)年に福岡市有形文化財に指定されました。



【お問い合わせ先】

水道局総務部総務課 小田、栗丸

TEL:483-3103(内線148-3103)

FAX:482-1376

※福岡市植物園の水やりには井戸水を使用しています。